

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 23 年 9 月 2 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	八女の森林バイオマスを有効利用したべんがら村温泉事業
承認番号	JCDM-PJ0015
排出削減事業者名	地域中央開発株式会社
排出削減共同実施事業者名	九州電力株式会社 三菱商事株式会社
事業実施場所	べんがら村（福岡県八女市宮野 1 0 0 番地）
事業の概要	温泉加温用ボイラーを重油焚きボイラーから木質バイオマス焚きボイラーに転換することにより、重油使用量・CO ₂ 排出量を削減するとともに、間伐材の有効活用を推進する。
排出削減量の計画	422 t CO ₂ /年（事業実施期間合計 1,677 tCO ₂ ）
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 4 月 10 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日（第 2 回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	544 tCO ₂ (2010年4月1日～2011年3月31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 承認済み排出削減事業計画に従い、重油焚きボイラーから木質バイオマスボイラーへの更新事業が実施されていることを事前審査の現地審査時に確認した。2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における木質チップ購入実績や設備稼働時間記録により確認した。3) 事業開始日が承認済み排出削減事業計画通りであることを、現地審査時における事業者への質問やエネルギー使用実績データ、設備稼働時間により確認した。4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none">1) モニタリング方法については、承認済み排出削減方法論及び承認済み排出削減事業計画に従って、事業実施後燃料(木質チップ)の使用量は請求書、また単位発熱量は含水率定期調査(木質ボイラ発熱量計算書)によりモニタリングが実施されていることを確認した。2) 活動量の正確性については、担当部署責任者により木質チップの請求書が管理・保存され、請求書等の事業実施後燃料仕入量が正確に集計・算定されていることを確認した。3) 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が承

	<p>認済み方法論及び承認済み排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合し、また方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>5) その他 その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の算定期間は、2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認した。</p>

5 . 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する再エネ量について、熱量換算 10,513.8GJ であることを確認した。

以上